



みなと赤十字病院における個人情報の所在不明について

みなと赤十字病院の初期研修医（嘱託医師）が研修目的で患者情報の一部をUSB（パスワードはかかっていたなかった。）に保存していました。USBを入れた鞆を持って電車に乗り、下車時に鞆ごと紛失したことに気がつきました。

その後、現金を抜かれた財布が発見され、警察に盗難届を提出。現時点でUSBは見つかっていません。

1 含まれていた個人情報

初期研修医（嘱託医師）として院内での検討会議資料を作成するため、次のデータをUSBに取り込んでいました。

- (1) 件数 全14件
- (2) 種類 患者ID、氏名、生年月日、病院名、手術記録、放射線及び内視鏡の画像、検体検査、内視鏡画像、心電図の記録

2 当該職員

横浜市立みなと赤十字病院 初期研修医※（嘱託医師 20代 男性）

※ 初期研修医・・・医師免許取得後に義務付けられている研修期間中の医師。複数診療科をローテーションしながら、指導医のもとで診療にあたる。

3 経過

平成28年12月23日（金）

1時16分 当該職員が、前日23時30分頃、東京メトロ副都心線千川駅から乗車し、みなとみらい線元町・中華街駅で降車しようとしたところ、持っていた鞆がないことに気がつき、新山下交番に遺失届を提出した。

2時00分 病院の事務管理当直に報告した。

平成28年12月26日（月）

神奈川県警から財布（現金なし）等の拾得物があったとの連絡があり、盗難届を提出。

4 みなと赤十字病院の対応

- (1) 対象患者には、お詫びのご連絡をするとともに、病院としても引き続き探索に努めています。
- (2) 個人情報の取扱い、情報管理のあり方等について、改めて周知徹底を図るとともに管理体制等を確認します。

5 みなと赤十字病院の概要

みなと赤十字病院は、指定管理者制度により日本赤十字社が運営する市立病院です。

所在地 横浜市中区新山下3-12-1

院長 四宮 謙一

病床数 634床（一般病床584床 精神科病床50床）

お問合せ先

（日本赤十字社）横浜市立みなと赤十字病院総務課長	蔭山 智彦（TEL 045-628-6815）
横浜市医療局病院経営本部病院経営課長	原田 浩一郎（TEL 045-671-4816）